

10月 月曜日

21日

ガラテヤ2:20 私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きていたのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が肉にあって生きていたのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によってです。

## キリストは わたしの すべて

パリサイ人の中でも一番上であり、強 大 国ローマの市民権も持っていて、知識が豊富だったパウロは、富と名誉を保証された人でした。その彼が、ある日、キリストに会った以後に変わりました。これまで価値あるように思っていた富と名誉と知識がちりあくただと思えて、キリストを分ける知識がもっとも尊いと思えたのです。伝道をして石で打たれたり、監獄に閉じ込められても、キリストを知るようになった事実一つだけで喜びました。

日本が韓国を支配していたとき、偶像崇拝を強要する日本の怖い迫害をおそれて、数多くの信徒と牧師が偶像の前にひざまずいたのですが、チュ・キチヨル牧師とソン・ヤンウォン牧師はひざまずきませんでした。牧師先生の目には、日本の軍人のおそろしい刑罰より、偶像を通して働くサタンがより大きく見えたためです。

その人々の特徴は、キリストでいっぱいだったということです。お金を失うようになって、人気を得ることができなくても、誤解を受けても関係なく、キリストが高められて、伝えられることにだけすべての関心がありました。それで、神様はその人々に契約が成就する祝福をください、家系も生かされる祝福をくださいました。結局は、その人々を通して偶像の働きが福音の働きに変わる祝福もくださいました。

3 Today

きょうのみことば

マタイ9

1日1しゅう かみさまのみことばをよもう!

きょうのいのり

きょうの でんどう

Three empty boxes for prayer and devotion.

ていこくつうしん せいのしん ちえいしゅう

つぎのページと おもてうらを はりあわせて つかって ください

# こども伝道トラクト



### 受け入れの祈り

(神様にどのように会うのですか)

神様に会う道があります。いま、イエス様を救い主として受け入れる祈りを下の文章を読んでみましょう。

神様、私は神様の存在を知らず、神様から離れて生きていました。イエス様を私の救い主として受け入れますので、いまから永遠まで神の子どもとしてくださって、私の生活がサタンにだまされないように、導いてください。

イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン

### かみさま あみち 神様に会う道



### なぜ人には苦しみがあるのでしょうか

神様は神様のかたちとして人を創造されました。人は神様とともにいるときだけしあわせになることができます。しかし、神様が造られたアダムとエバがサタンにだまされてしまい、神様を離れるようになってしまいました。

神様が食べてはならないと言われた善悪の知識の木の実を取って食べてしまったのです。それで、神様を離れた人間は、神様に会えないなら、苦しみの中で生きるしかないのです。

この世はだれがつくったのでしょうか

この世にはたくさんの宗教がありますが、はじめに全地を造られた方は、神様しかおられません。天と地、水と海があるようにされ、この世界に存在する空に飛ぶ鳥と地にはうすべての動物を造られました。

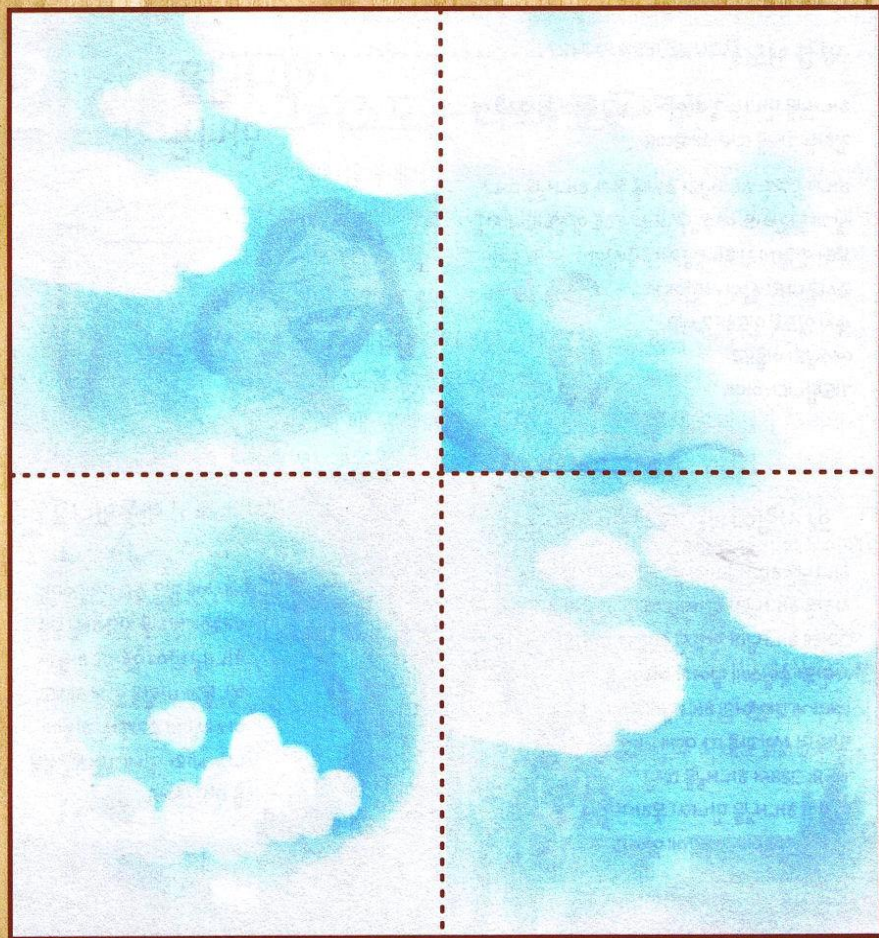


父なる神様！パウロのように、チュ・キチヨル牧師先生とソン・ヤンウォン牧師先生のように、苦しみの中でもキリストで満たされますように。聖霊で満たしてください。私を通して神様が栄光を受けてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

じっせん きるがぶん てんせん みるがぶん

まえのページと おもてうらを はりあわせて つかってください

—— じっせん:きるぶぶん -----てんせん:おるぶぶん



ちち かみさま  
父なる神様！この世に生きている間、聖霊様の力をいっぱいを受けて、霊的な力を受けてイエス様の弟子として生きることができますように。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン



II 列王6:8~16 そして、エリシャは祈って主に願った。「どうぞ、彼の目を開いて、見えるようにしてください。」主がその若い者の目を開かれたので、彼が見ると、なんと、火の馬と戦車がエリシャを取り巻いて山に満ちていた。

## れいてきな ちから

私たちは、家族との生活でも力が必要で、学校で友だちとの生活でも力が必要です。他の人と生活をするなら、誤解が生じたり、葛藤が積もったりもします。力の中でも最も必要な力が「霊的な力」です。なぜなら、人間のたましいは、その人の心と考えとからだ全体に影響を与えるからです。

それなら、霊的な力はどのように得られるのでしょうか。それは、イエス様を通して得られます。イエス様は神の子どもを助けるために聖霊様を送ってくださると約束されました。イエス様を通して送られた聖霊様は、いつも神の子どもを助けながら導くことを喜ばれます。

そして、神の子どもには、かならず聖霊様の力が必要です。聖霊様の力を受ければ、神様の考えを持って正しい判断をする事もでき、神様の目を持って、サタンにだまされなくて勝利することができます。聖霊様の力を受ければ、すてきな伝道者の生活を生きようになります。ですから、私たちは聖霊に満たされることに集中して慕い求めなければなりません。

3Today

きょうの みことば  
 マタイ10  
いちにち 1しゅう かみさまのみことばを よもう！

きょうの いのり  
\_\_\_\_\_

きょうの てんどう  
\_\_\_\_\_



10月 WED 水曜日

23日

マタイ 28:16~20 それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ、わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。

### せかいを ところに いだこう

奴隷、捕虜、属国、さまよい…これがイスラエルの歴史です。神様が選ばれた民が、なぜこのような苦しみにを味わわなければならなかったのでしょうか。神様ははじめからすべての国の人々に、あらゆる民族に、地の果てまで福音を伝えなさいとおっしゃいました。ところが、イスラエルは選民思想に陥って、決して宣教しなかったのです。それによって、7回の大きい災いとなんども困難を体験するようになったのです。他の国にも福音のために「散らされた者、隠された者、残った者」がいるという事実をまったく知らなかったのです。

レムナントは、いますぐ宣教師として出て行くわけにはいきませんが、宣教に対する心を抱くことはできます。宣教映像を見て、宣教師の本も読めば、宣教に対する心と祈りが変わらぬでしょう。国を一つ決めておいて、その国の宗教、人口、文化などを勉強しながら祈るのも良い方法です。多文化家庭の子どもを助けながら福音を伝えるのも宣教になります。世界を心に抱いて宣教のために祈りながら小さい実践を見つけましょう。聖霊の満たし、信仰の満たし、知恵の満たしによって、人々からほめられるレムナントになるようにしてください。

\* 選民思想: 自分の民族、つまり、イスラエルだけが神様が選ばれて救われた民族であり、他のすべての国の人々は救われないと主張する思想

3Today

きょうの みことば

マタイ11

いばに ししう かみさの みことばを よもう!

きょうの いのり

きょうの てんどう

世界宣教のために行ってみたい  
宣教地の宗教、文化、人口、思想、  
位置などを具体的に書いてみて  
祈りましょう

10月 THU 木曜日

24日

ピリピ 1:6、2:13 あなたがたのうちに良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させてくださることを私は堅く信じているのです。(1:6)

## レムナントらしい すがたを そなえよう

聖日礼拝一時間、拡張教会学校礼拝一時間。このように、神様に集中する時間が一週間の中でたった二時間しかないのにくらべて、ゲームやパソコン、テレビに奪われる時間は多くの時間を占めています。少し暇な時間ができたら、すぐにゲームを手にとるのが習慣になってしまいました。テレビから出てくる音楽は、賛美ではないアイドル歌手の歌であり、家に戻るとすぐにゲーム機やパソコンの前に座って、ゲームにはまったりもします。寝る前には、テレビを見て、夜の時間をなにもなくすごします。一日一日をこのように送りながら神様には集中できないから、レムナントの霊的状態は、無気力な状態になってしまいました。判断力も決断力もこんがらがってしまい、関心と考えがすっかり暗やみ文化でぎっしり埋まってしまいました。レムナントらしい姿は見えず、葛藤する姿だけ見せています。

今から、レムナントらしい姿を回復しましょう。「わたしについて来なさい。あなたがたを、人間をとる漁師にしてあげよう。」というみことばのように、イエス様について行きましょう。イエス様のみことばに耳を傾けましょう。イエス・キリストに集中しましょう。イエス・キリストでいっぱい満たされるようになれば、レムナントらしい姿を回復するようになるでしょう。

3 Today

マタイ12

きょうの いのり

きょうの でんどう

キム・ナンハぼくしせんとともに

## ?もやもや

なやみを話そう?



サタンについて教えてください。サタンは地獄で死なないのですか。パク・ジンヨン/テグハナ教会

サタンは、エゼキエル 28章 13~17節にあるように、タンバリンと笛で神様を賛美する御使いでした。ところが、イザヤ 14章 12~17節にあるように、神様に賛美していた存在が高慢になって、神様に敵対するようになりました。そのあと、サタンはⅡペテロ 2章 4節に罪を犯した御使いとして、ユダ 1章 6節には自分の領域を守らなかった御使いとして、ヨハネ 16章 11節にはこの世の支配者であり、エペソ 2章 2節には空中の権威を持つ支配者として説明されています。世の支配者は、神様のみことばを聞くことができないように、救われないように邪魔します。特に、神の子どもが伝道できず、人生を自分の思うとおりに生きるようにさせます。黙示録 21章 7節以下を見ると、イエス様が再臨されれば、サタンは地獄(火と硫黄の燃える池)に投げ入れられるようになります。そこには、サタンだけでなく、悪霊と偽りの預言者、そして、いのちの書に記されていないすべてのものが、永遠に昼も夜も苦しめられるようになると語っています。サタンは、地獄で死ぬのではなく、永遠に死なないで、昼も夜も苦しめられるようになります。レムナントがサタンのだましごとでだまされず、家庭と教会、この時代を生かす主役、レムナントサミット(summit)として正しく立つように祈ります。



愛の神様! キリスト、神の国、聖霊の満たし、この祝福が私のことなる祝福を味わわせてください。イエス・キリストのお名前によっておいのります。アーメン

10月 金曜日

25日

使徒1:8 しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」

### レムナントの しゅくふく

イギリスの王子が、ある日、自分の顔と誕生日が同じこじきに会って、服を着替えて、こじきのように暮らして、いろいろな苦労を体験した後、また王子の姿に戻ってきて、りっぱな王になったという王子とこじきというお話があります。神様はレムナントに、とても大きな祝福をくださいました。ところが、その祝福を知らなくて、さまよって葛藤におちっているレムナントが多いのです。まるでこじきのように生きる王子の姿とまったく同じです。レムナントは、どんな祝福を受けたのかよく見てみましょう。

一番最初に「本物の祝福」を受けました。罪とサタンと地獄の問題を解決される道は、ただキリストだけですが、私たちにキリストをくださいました。また、神の国を私たちの背景になるようにしてくださいました。その上、聖霊の満たしという武器もくださいました。これらすべてが本物の祝福です。2つ目に、レムナントを通して隠された弟子を見つけて、暗やみ文化に陥った学校と町を福音化しようとする「現場の祝福」もくださいました。3つ目に、レムナントを通して力を失った教会を生かす「隠れた祝福」をくださいました。神様はレムナントを秘密兵器として呼ばれて、レムナントに未来を任せられました。堂々として幸せでいてください。

3 Today

きょうの みことば

マタイ13

いちにち 1しゅう かみさまのみことばを よもう!

きょうの いのり

きょうの でんどう

でいこくかほにい せいこうしたる チェックしよう

2013. 6. 24 (牧会者修練会 2 講)



パク・ウヨンぼくしふじん!

# わたし、 なやんでいます!



伝道ができません。  
どうしたらよいのでしょうか。  
ヤン・チャンジュ/イエウオン教会



うれしい質問ですね。伝道ができないということは、2つの解釈ができます。イエス様を自慢したが受け入れをしないということと、イエス様を自慢したいけれど、口が開かないということがあるでしょう。もしイエス様を自慢したのに受け入れなくて、実がないならば、まだ神様の時刻表にならなかったのを待てば良いのです。しかし、イエス様のことを言ってあげたいけれど、相手がどのように反応するかかわらないと、口が開かないなら、私の中に何がぎっしり埋まっているのか点検からしなければなりません。みことばと祈り、賛美がいっぱいならば、自然にイエス様の話をするようになります。たしかに神様が喜ばれることを先に考えるからです。ひょっとして、今日のみことば、今日の祈り、今日の伝道が心にぎっしり満ちていないならば、3つの今日(みことば、伝道、祈り)を先に心に満たしてみましよう。神様とともにいれば、みことばの中で導かれて、現場に向かって祈るようになれば、現場が生かされるのを経験するようになるでしょう。

父なる神様! レムナントにこの世と教会をまかされて、未来までまかされたことを知ることになりました。私がお多くの祝福を受けた重要な人であることを知ることになりました。いまから受けた祝福を確認して、堂々と生きることを決断します。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン

10月 SAT 土曜日

おはなし もくそう

26日

# しんぱいは ノー (No) けいやくの なかで ぬげだそう



アブラハムは、肉的な問題のために心配が多くありました。神様の  
ことばのとおりには、肉を離れて、祝福の地であるカナンに行ったの  
ですが、祝福を受けているのに、目の前に見えるききんのゆえに、カ  
ナンの地を離れて、エジプトに行くようになりました。アブラハムは、  
肉的な問題のために、神様がくださった契約をのがすときが多かった  
のです。一度は、妻であるサラの美しさのせいで自分が死ぬかと心配  
をしたりもしました。



3Today

きょうの みことば

マタイ14

いちにち 1しゅう かみさまの  
みことばを よもう!

きょうの いのり

きょうの でんどう

アブラハムは衣食住問題を心配したり、救われていても、神の子  
もである事実が信じられない時もありました。しかし、信仰の目で  
神様の計画を見上げたところ、神様がアブラハムにくださった契約  
が見えるようになりはじめました。神様は、神様に頼るアブラハム  
に祝福をくださいました。

神様がアブラハムを祝福してくださった理由はなんでしょうか。  
アブラハムが神様の前で祭壇を築きはじめたからです。これがア  
ブラハムの人生のターニングポイントになりました。

レムナントのみなさん、弱い姿をしていても大丈夫です。完ぺきな  
姿ではなくてもがっかりしないでください。神様に用いられたア  
ブラハムのように、問題の前で神様に頼ることが重要です。ときには  
問題が起きて、苦しみが目の前をさえぎるときがあります。しかし、  
いまでも私とともにおられる神様の前で祈って神様に頼れば、私  
たちの道を導いてくださいます。